

4.カルトや消費者トラブルに巻き込まれたら

「カルト」とはマインドコントロールなどの悪質な手法で信者を服従させ、悪徳・違法行為を繰り返す宗教団体のことを言います(高野、2020)。

カルトは、一見宗教団体に見えない学生サークルとして大学内に存在している場合もあり、気がつけば取り込まれていた、ということもあります。大学生がカルトに巻き込まれることが多いのは、「仲間・友だちが欲しい」「居場所を作りたい」という心理につけ込まれているからだと言われています。最初は優しく先輩が宗教的なことを口にするようになり、「とてもいいお話が聞ける会があるから来ないか」と、集會に度々誘われるなど、もしおかしかったら、すぐに活動から距離を置くか、誰かに相談しましょう。家族や友人に相談しにくいと感じたら学生生活支援センターに相談してください。

ほかに、若者が巻き込まれやすいトラブルとして、インターネット上の悪徳商法があります。興味を持ったページを閲覧しているうちに有料サイトに誘導され、法外な価格を請求されたり、見覚えのない相手からさも情報が洩れているように語りかけられるメールが届くなど、最近の手口はどんどん巧妙になっています。

おかしいな、と思ったメールやサイトは開かない、悪徳商法の情報は常にチェックするなど、自らを守ることが必要です。

悪徳商法とまでいなくても「この特典は今日の〇時までです！」などの誘い文句でうっかり買い物をしてしまい、しまった！と思ったら一人で悩まずに、消費生活センターや消費者ホットライン(局番なしの188^{いっや})に電話するのもよいでしょう。

5.アルバイトのトラブル

アルバイトは、大学生とはいえ、「職業」「働くこと」の入り口です。社会活動に足を踏み入れるわけですから、そこには社会人としてのルールや規則、マナーがあります。最初はわからなくても経験を積み重ねるうちに、だんだんと理解できていくこともあります。学生ならではの貴重な社会生活として、とらえてほしいものです。ただ、最近は「ブラックバイト」という言葉もあるように、学生が不当な扱いを受けたり、トラブルにつながることもあります。困ったことがあれば、まずは学生生活支援センターにご相談ください。または、関西学生アルバイトユニオン、という、学生向けの労働者組合もあります。ホームページもありますので自分の状況が当てはまる例があるか、参考にしてみてください。「関西学生アルバイトユニオン」<https://kanuni.jimdofree.com/>

<文献>

高野明(2020). 第3章 課外活動・学外でのトラブル 齋藤憲司・石垣琢磨・高野明(著) 大学生のストレスマネジメントー自助の力と援助の力. 有斐閣、63-77.